

日時	2015年1月23日（金）13:00～
場所	京都大学理学研究科セミナーハウス （〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学北部構内） → アクセスマップ のNo.10
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> • 13:00 開会の辞 • 13:05 「エーテル型リン脂質、プラスマローゲンの生理機能と代謝特性」 …原 博（北海道大学大学院農学研究院）⇒ 講演要旨はこちら • 13:35 「オメガ3 脂肪酸の代謝と抗炎症作用のメタボロミクス」 …有田 誠（理化学研究所）⇒ 講演要旨はこちら （14:05 休憩） • 14:15 「新しいリポソーム調製方法とその応用開発」 …清水 佳隆（バイオメッドコア）⇒ 講演要旨はこちら • 14:45 「スフィンゴ脂質の食品機能」 …菅原 達也（京都大学大学院農学研究科）⇒ 講演要旨はこちら （15:15 休憩） 【一般講演】15:30～ • 食事由来のトランス脂肪酸はジアシル型リン脂質やプラスマローゲンに多量に蓄積される …（北海道大・院農・応生科）○千葉 俊、原 博 • 北海道留萌地域におけるフコキサンチンのヒト介入試験（第1報） …（¹札医大・医・病態情報、²北大院・水、³札医大・医・医育セ）○三上奈々¹、細川雅史²、阿部真幸²、宮下和夫²、相馬 仁^{1,3}、小海康夫¹ • 心筋梗塞自然発症モデルウサギにおける血漿リポタンパク質画分のリピドーム解析 …（¹大阪大院工、²神戸大院医）○竹田浩章¹、小池智也²、和泉自泰¹、山田貴之¹、吉田 優²、塩見雅志²、福崎英一郎¹、馬場健史¹ • Δ6及びΔ5脂肪酸不飽和化酵素の基質特異性を規定するアミノ酸残基の同定 …（広島大院・先端）○渡辺研志、大野 洵、田口昌宏、秋 庸裕 • <i>Aurantiochytrium</i>属における新規カロテノイド生合成酵素の機能解析 …（¹広島大院・先端、²沖縄科技大院）○長野亜希子¹、佐藤亮太¹、岩坂宏明¹、小柳 亮²、佐藤矩行²、秋 庸裕¹ • 油糧性糸状菌 <i>Mortierella alpina</i> の分子育種によるエイコサジエン酸(EDA, 20:2ω9)の生産 …(¹京大院農・応用生命、²京大・生理化学、³徳島大院・ソシオ)○奥田知生¹、安藤晃規^{1,2}、根来宏明¹、櫻谷英治^{1,3}、小川 順^{1,2} • <i>Lactobacillus plantarum</i> AKU 1009aの不飽和脂肪酸飽和化代謝に関わる水酸化脂肪酸脱水素酵素の諸性質解明 …（¹京大院農・応用生命、²京大院農・産業微生物、³日東薬品工業）○竹内道樹¹、朴 時範²、内堀良重^{1,3}、岸野重信¹、小川 順¹ • グリセロホスホコリン コリンホスホジエステラーゼの触媒反応機構の推定 …（福島大院・理工）○奥田航輝、杉森大助 • グリセロホスホエタノールアミン エタノールアミンホスホジエステラーゼの基質認識機構 …（福島大院・理工）○杉森大助、峯田真吾 • 17:45 閉会の辞 • 18:00 懇話会 会場：旧農学部附属演習林事務室内ラウンジ （京都大学北部構内、上記アクセスマップのNo. 15）
参加費	参加費2,000円（非課税）、懇話会費4,000円（税込）ただし、いずれも学生無料

定員	100名（先着順）
申込み方法	E-mailにて、住所、氏名、所属、メールアドレス等を明記の上、下記宛に。懇話会参加の有無も必ずご記載ください。
申込先	〒536-8553 大阪市城東区森ノ宮1-6-5 地方独立行政法人大阪市立工業研究所 生物・生活材料研究部 永尾寿浩 TEL: 06-6963-8073 FAX: 06-6963-8079 E-mail: nagao@omtri.or.jp
備考	お申込みいただいたお名前等の個人情報は、参加確認および今後の学際的脂質創生研究部会講演会のご案内以外の目的には使用いたしません。

主催： **学際的脂質創生研究部会**

講演会要旨

• エーテル型リン脂質、プラスマローゲンの生理機能と代謝特性

北海道大学大学院農学研究院 原 博

プラスマローゲン (PIs)は、*sn*-2位にビニルエーテル結合を持つグリセロリン脂質のサブクラスである。脳や心臓に多く含まれ高いラジカル感受性を有するが、その生理機能にはなぞが多い。私どもは、LC-MS/MSを用いたヒト血清PIs分子種分析より、その生理機能を解析した。また、リンパカニューレションラットを用いて腸管におけるエーテル型リン脂質の吸収特性や代謝特性を明らかにした。

• オメガ3脂肪酸の代謝と抗炎症作用のメタボロミクス

理化学研究所 有田 誠

魚油に多く含まれるオメガ3脂肪酸には、抗炎症作用や心血管保護作用などがあることが知られている。しかしながらこれらの脂肪酸がなぜ体によいのか、分子レベルの解明は遅れている。本講演では、LC-MS/MSを用いた脂肪酸代謝物の包括的解析（メタボロミクス）により、オメガ3脂肪酸の抗炎症作用に関わる代謝経路および新規抗炎症性代謝物の同定を目指した研究について紹介する。

• 新しいリポソーム調製方法とその応用開発

バイオメッドコア 清水 佳隆

当社では、新規なりポソーム調製方法（LibMec法）の開発に成功し、このリポソーム調製方法とマイクロインラインリアクター技術とを融合させたリポソーム製造装置の開発を行なっている。この製造装置を用いることで、均一性の高いリポソームを無菌的かつ連続的に製造することができる。本講演では、医薬用リポソームの開発やその他の応用例に関して紹介する。

- スフィンゴ脂質の食品機能

京都大学大学院農学研究科 菅原 達也

スフィンゴ脂質は新たな食品機能成分として期待されており、なかでも皮膚に対する効果が注目されている。しかしながら、その消化吸収や作用メカニズムについては不明な点も多い。本講演では、これまでの研究で得られてきたスフィンゴ脂質の消化管吸収機構と皮膚バリア機能改善効果に関する知見を中心に紹介する。

[▶このページのTopへ](#)

[⇒学際的脂質創生研究部会のページ](#)